

道徳授業地区公開講座 授業のポイント

令和4年 1月14日 土曜日 第1学年1組 授業者 小野田 有希

今日のテーマ「希望と勇気、努力と強い意志」

使う教材「やれば できるんだ」(光村図書)

育てたい心

自分で決めたことを、最後まで粘り強くやり通そうとする心情を育てたいと考えています。

お話について



「わたし」の手のひらには、固くなったまめの痕がある。うんていの練習を一生懸命したからだ。なかなか前に進めなくても、絶対にできるようになるという強い気持ちで日々頑張り、少しずつできるようになった。次は、さらに難しい技に挑戦しようとする「わたし」。また、頑張ったしるしが増えそうだ。

授業の流れ

もっと上手になりたいと思っていることを発表する。

- 1 何回もまめが潰れた時、「わたし」は、どんな気持ちだったでしょう。
- 2 「わたし」は、どんな気持ちで、休み時間や体育の時間、休みの日にもたくさん練習をしていたのでしょうか。
- 3 がんばったしるしをみると、「わたし」は、どんな気持ちになるでしょう。



あなたは、「できるまでがんばるぞ。」と思って、何かをがんばったことがありますか。



ご家庭で

子供たちが、1人の人間として自立してよりよく生きていくためには、常に自分自身を高めていこうとする意欲をもつことが大切です。そのためには、目標をもち、その達成に向けて粘り強く努力するとともに、やるべきことをやり抜く力を養うことが求められます。そのためには、身近な人々が子供の取り組みを、認め、励ますことが重要になってきます。そのことが達成感を味わわせ、自分で決めたことを、最後まで粘り強くやり通そうとする心を育てることにつながっていきます。勉強や運動、家の仕事、学校での係、習い事など、小さなことでも、お子さんが、目標を決めて頑張っていることがありましたら、大いに褒めてあげていただければと思います。

キャリア教育で特に身に付けたい3つの力



自分のいいところを見付ける力



次のことを考える力



考えや気持ちを聞いたり、伝えたりする力

道徳授業地区公開講座 授業のポイント

令和4年 1月14日 土曜日 第1学年2組 授業者 井村 勇斗

今日のテーマ「生命の尊さ」

使う教材「ちいさな ふとん」(光村図書)

育てたい心

大きくなったと感じることについて考えさせ、生きることの素晴らしさを感じ、命を大切にしようとする心情を育てたいと思います。

お話について



よしこの家に弟のゆういちが生まれた。よしこは弟の小さな手を握り、まるで宝物を持っているような気持ちになる。母親に、自分も弟のように小さかったのかと尋ねると、母親は、よしこも弟が寝る小さな布団で寝ていたのだと答え今はもうその布団で寝られないほど、よしこは大きくなったのだとほほえんだ。

授業の流れ

大きくなったと感じるときについて発表し合う。

- 1 「わたし」は、どうして「たからものを持っているようなきもち」になったのでしょうか。
- 2 「もうこのおふとんではねられなくなったわね。」と、おかあさんにいわれたとき、よしこは、どんなことをかんがえたでしょう。



あなたがじぶんを「おおきくなったな。」とかんじるのは、どんなときですか。



ご家庭で

今回の学習では、自分が大きくなったと感じるのはどんな時かについて振り返ります。ご家庭でも、お子さんが、どんなときに自分が大きくなったと感じるのか、ぜひお話を聞いてみてください。お子さんの成長を感じた場面や出来事などについてもお伝えいただければと思います。

キャリア教育で特に身に付けたい3つの力



自分のいいところを見付ける力



次のことを考える力



考えや気持ちを聞いたり、伝えたりする力

道徳授業地区公開講座 授業のポイント

令和4年 1月14日 土曜日 第1学年3組 授業者 野崎 麗

今日のテーマ「生命の尊さ」

使う教材「ちいさな ふとん（光村図書）」

育てたい心

大きくなったと感じることについて考えさせ、生きることの素晴らしさを感じ、命を大切にしようとする心情を育てたいと思います。

お話について



よしこの家に弟のゆういちが生まれた。よしこは弟の小さな手を握り、まるで宝物を持っているような気持ちになる。母親に、自分も弟のように小さかったのかと尋ねると、母親は、よしこも弟が寝る小さな布団で寝ていたのだと答え今はもうその布団で寝られないほど、よしこは大きくなったのだとほほえんだ。

授業の流れ

大きくなったと感じるときについて発表し合う。

- 1 「わたし」は、どうして「たからものを持っているようなきもち」になったのでしょうか。
- 2 「もうこのおふとんではねられなくなったわね。」と、おかあさんにいわれたとき、よしこは、どんなことをかんがえたでしょう。



あなたがじぶんを「おおきくなったな。」とかんじるのは、どんなときですか。



ご家庭で

今回の学習では、自分が大きくなったと感じるのはどんな時かについて振り返りました。ご家庭でも、お子さんが、どんなときに自分が大きくなったと感じるのか、ぜひお話を聞いてみてください。お子さんの成長を感じた場面や出来事などについてもお伝えいただければと思います。

キャリア教育で特に身に付けたい3つの力



自分のいいところを見付ける力



次のことを考える力



考えや気持ちを聞いたり、伝えたりする力

道徳授業地区公開講座 授業のポイント

令和4年 1月14日 土曜日 第1学年4組 授業者 小山内均

今日のテーマ「生命の尊さ」

使う教材「ちいさな ふとん（光村図書）」

育てたい心

大きくなったと感じることについて考えさせ、生きることの素晴らしさを感じ、命を大切にしようとする心情を育てたいと思います。

お話について



よしこの家に弟のゆういちが生まれた。よしこは弟の小さな手を握り、まるで宝物を持っているような気持ちになる。母親に、自分も弟のように小さかったのかと尋ねると、母親は、よしこも弟が寝る小さな布団で寝ていたのだと答え今はもうその布団で寝られないほど、よしこは大きくなったのだとほほえんだ。

授業の流れ

大きくなったと感じるときについて発表し合う。

- 1 「わたし」は、どうして「たからものをもっているようなきもち」になったのでしょうか。
- 2 「もうこのおふとんではねられなくなったわね。」と、おかあさんにいわれたとき、よしこは、どんなことをかんがえたでしょう。



あなたがじぶんを「おおきくなったな。」とかんじるのは、どんなときですか。



ご家庭で

今回の学習では、自分が大きくなったと感じるのはどんな時かについて振り返ります。ご家庭でも、お子さんが、どんなときに自分が大きくなったと感じるのか、ぜひお話を聞いてみてください。お子さんの成長を感じた場面や出来事などについてもお伝えいただければと思います。

キャリア教育で特に身に付けたい3つの力



自分のいいところを見付ける力



次のことを考える力



考えや気持ちを聞いたり、伝えたりする力

今日のテーマ「正直、誠実」

使う教材「すてきなえがお」(光村図書)

授業の流れ

育てたい心

正直に謝ることができる、どんな気持ちになるのかについて考え、うそやごまかしをしないで、明るく生活しようとする心情を育てたいと考えています。

お話について



「わたし」が小さいころ、母と一緒にバスに乗って立っていました。すると、バスが急停車し「わたし」は隣のおばさんの足を踏んでしまいました。おばさんの顔を覗き込むと、おばさんは怒っているように見えました。「わたし」は「このまま、だまっておこうかな。」と考えましたが、思い切って「ごめんなさい」と謝りました。すると、おばさんはすてきな笑顔になりました。「わたし」は胸の中がすうっとしました。

あれから30年近く経った今でも、「わたし」はそのおばさんの笑顔を忘れることはありませんでした。

正直に謝るかどうか、迷った経験があるか発表し合う。

- 1 「どうしよう。」と思ったときの「わたし」の心の中には、どんな気持ちとどんな気持ちがあったのでしょうか。
- 2 30年近く経ったのに、「わたし」が今でもおばさんのすてきな笑顔を忘れられないのはどうしてでしょう。



あなたが正直に謝るかどうかを迷ったときは、どんなことを考えればよいと思いますか。

みなさんは、いつでも正直でいることができるでしょうか。



ご家庭で

子供たちは、これまでの経験の中で、自分の過ちを認めて正直に伝えなければならない場面があったと思います。ご家庭でも、普段お子さんがどのように友達と接しているのか聞いてみてください。正直になれた時の話があった時には、お子さんに寄り添ってあげてください。お子さんは、正直になれたことを認められると、正直になることの大切さに気付くことができると思います。

キャリア教育で特に身に付けたい3つの力



自分のいいところを見付ける力



次のことを考える力



考えや気持ちを聞いたり、伝えたりする力

道徳授業地区公開講座 授業のポイント

令和4年1月14日土曜日 第2学年2組 授業者 渡邊 藍香

今日のテーマ「正直、誠実」

使う教材「すてきなえがお」（光村図書）

育てたい心

正直に謝ることができる、どんな気持ちになるのかについて考え、うそやごまかしをしないで、明るく生活しようとする心情を育てたいと考えています。

お話について



「わたし」が小さいころ、母と一緒にバスに乗って立っていました。すると、バスが急停車し「わたし」は隣のおばさんの足を踏んでしまいました。おばさんの顔を覗き込むと、おばさんは怒っているように見えました。「わたし」は「このまま、だまっておこうかな。」と考えましたが、思い切って「ごめんなさい」と謝りました。すると、おばさんはすてきな笑顔になりました。「わたし」は胸の中がすうっとしました。

あれから30年近く経った今でも、「わたし」はそのおばさんの笑顔を忘れることはありませんでした。

授業の流れ

正直に謝るかどうか、迷った経験があるかを発表し合う。

- 1 「どうしよう。」と思ったときの「わたし」の心の中には、どんな気持ちとどんな気持ちがあったのでしょうか。
- 2 30年近く経ったのに、「わたし」が今でもおばさんのすてきな笑顔を忘れられないのはどうしてでしょう。



あなたが正直に謝るかどうかを迷ったときは、
どんなことを考えればいいと思いますか。

みなさんは、いつでも正直でいることができるでしょうか。



ご家庭で

子供たちは、これまでの経験の中で、自分の過ちを認めて正直に伝えなければならない場面があったと思います。ご家庭でも、普段お子さんがどのように友達と接しているのか聞いてみてください。正直になれた時の話が合った時には、お子さんに寄り添ってあげてください。お子さんは、正直になれたことを認められると、正直になることの大切さに気付くことができると思います。

キャリア教育で特に身に付けたい3つの力



自分のいいところ
を見付ける力



次のことを考える力



考えや気持ちを聞いたり、伝えたりする力

道徳授業地区公開講座 授業のポイント

今日のテーマ「正直、誠実」

使う教材「すてきなえがお」（光村図書）

育てたい心

正直に謝ることの大切さについて考え、うそをついたり、ごまかしたりしないで、明るい心で生活しようとする意欲と態度を育てたいと考えています。

お話について



「わたし」が小さい頃、お母さんとバスに乗ったときのことで。バスが急停車したはずみに、「わたし」は、隣にいたおばさんの足を踏んでしまいます。おばさんは怒っているような顔をしていました。「わたし」は、「このまま黙っておこうかな。」「どうしよう。」と思っていました。思い切っておばさんに「ごめんなさい。」と言い、頭を下げました。すると、おばさんの顔はみるみるほころんで、すてきな笑顔になりました。「わたし」の胸の中は、すうっとなりました。その日から30年近く経った今でも、筆者は、おばさんの怖い顔とすてきな笑顔を忘れることができません。

令和4年1月14日土曜日 第2学年3組 授業者 柏木 由季

授業の流れ

正直に謝らなければならないのに、謝るかどうかわ迷った経験があるかを発表し合う。

- 1 「どうしよう。」と思ったときの「わたし」の心の中には、どんな気持ちとどんな気持ちがあったのでしょうか。
- 2 30年近く経ったのに、「わたし」が今でもおばさんのすてきな笑顔を忘れられないのは、どうしてでしょう。



正直に謝るかどうかわ迷ったときは、どんなことを考えればいいと思いますか。

いつでも正直でいることができるか、考えてみよう。



ご家庭で

子供たちは、自分の過ちをなかなか認めることができなかつたり、叱られることを恐れて、なんとかその場を取り繕おうとしたりすることが少なくありません。今日の授業でお子さんが考えたことについて、ご家庭でも話題にさせていただくとともに、おうちの方も正直に謝るかどうかわ迷うことがあるということや、正直に謝ることができてよかったという経験を、お子さんにお伝えいただければと思います。

キャリア教育で特に身に付けたい3つの力



自分のいいところを見付ける力



次のことを考える力



考えや気持ちを聞いたり、伝えたりする力

道徳授業地区公開講座 授業のポイント

今日のテーマ「公平なたいどで」

使う教材「なおとからのしつもん」(光村図書)

育てたい心

誰に対しても分け隔てをせず、公平に接しようとする心情や態度を育てたいと考えています。

お話について



「ぼく」は、なおとの態度について気になっていることがあります。席替えのときに、仲良しの友だちが隣の席になると喜びますが、あまり話したことがない子が隣になると嫌がります。また、休み時間に遊ぶとき、優しくしてくれる子は仲間入れてあげますが、前にドッジボールでボールをあてられた子は仲間入れてあげません。「ぼく」は、「人によって態度を変えるなんて、だめだよ。」と注意しますが、反対になおとから、「なんで、人によって態度を変えたらだめなの？」と聞き返されます。「ぼく」は、なおとの質問に、どう答えればよいのでしょうか。

令和5年 1月14日 土曜日 第3学年1組 山西 香織

授業の流れ

「公平」とはということかを考え、出し合う。

- 1 じゅんやとひろし、はなみとゆかこは、どんな気持ちだったでしょう。周りにいた人は、どう感じたでしょう
- 2 「なんで、人によって態度を変えたらだめなの？」というなおとの質問に、「ぼく」はどう答えたらよいと思いますか。



誰に対しても公平に接することができる人は、どんなことを大切にしていると思いますか。

人と公平に接することができなかったときは、どうしてできなかったのかを考えよう。



ご家庭で

ご家庭でも、お子さんが普段どのように友達と接しているのか聞いてみてください。お子さんの公平な態度について聞いたときは、それをしっかりと認める言葉がけをお願いします。おうちの人に認められることが自信になり、思いやりのある、よりよい人間関係を築いていくことにつながっていきます。

キャリア教育で特に身に付けたい3つの力



自分のいいところ
を見付ける力



次のことを考える力



考えや気持ちを聞いたり、伝えたりする力

道徳授業地区公開講座 授業のポイント

今日のテーマ「公平なたいどで」

使う教材「なおとからのしつもん」（光村図書）

育てたい心

誰に対しても分け隔てをせず、公平に接しようとする心情や態度を育てたいと考えています。

お話について



「ぼく」は、なおとの態度について気になっていることがあります。席替えのときに、仲良しの友だちが隣の席になると喜びますが、あまり話したことのない子が隣になると嫌がります。また、休み時間に遊ぶとき、優しくしてくれる子は仲間入れてあげますが、前にドッジボールでボールをあてられた子は仲間入れてあげません。「ぼく」は、「人によって態度を変えるなんて、だめだよ。」と注意しますが、反対になおとから、「なんで、人によって態度を変えたらだめなの？」と聞き返されます。「ぼく」は、なおとの質問に、どう答えればよいのでしょうか。

令和5年 1月14日 土曜日 第3学年2組 吉田 悠太

授業の流れ

「公平」とはということかを考え、出し合う。

- 1 じゅんやとひろし、はなみとゆかこは、どんな気持ちだったでしょう。周りにいた人は、どう感じたでしょう
- 2 「なんで、人によって態度を変えたらだめなの？」というなおとの質問に、「ぼく」はどう答えたらよいと思いますか。



誰に対しても公平に接することができる人は、どんなことを大切にしていると思いますか。

人と公平に接することができなかったときは、どうしてできなかったのかを考えよう。



ご家庭で

ご家庭でも、お子さんが普段どのように友達と接しているのか聞いてみてください。お子さんの公平な態度について聞いたときは、それをしっかりと認める言葉がけをお願いします。おうちの人に認められることが自信になり、思いやりのある、よりよい人間関係を築いていくことにつながっていきます。

キャリア教育で特に身に付けたい3つの力



自分のいいところを見付ける力



次のことを考える力



考えや気持ちを聞いたり、伝えたりする力

道徳授業地区公開講座 授業のポイント

今日のテーマ「公平なたいどで」

使う教材「なおとからのしつもん」（光村図書）

育てたい心

誰に対しても分け隔てをせず、公平に接しようとする心情や態度を育てたいと考えています。

お話について



「ぼく」は、なおとの態度について気になっていることがあります。席替えのときに、仲良しの友だちが隣の席になると喜びますが、あまり話したことがない子が隣になると嫌がります。また、休み時間に遊ぶとき、優しくしてくれる子は仲間入れてあげますが、前にドッジボールでボールをあてられた子は仲間入れてあげません。「ぼく」は、「人によって態度を変えるなんて、だめだよ。」と注意しますが、反対になおとから、「なんで、人によって態度を変えたらだめなの？」と聞き返されます。「ぼく」は、なおとの質問に、どう答えればよいのでしょうか。

令和5年 1月14日 土曜日 第3学年3組 村上 知也

授業の流れ

「公平」とはということかを考え、出し合う。

- 1 じゅんやとひろし、はなみとゆかこは、どんな気持ちだったでしょう。周りにいた人は、どう感じたでしょう
- 2 「なんで、人によって態度を変えたらだめなの？」というなおとの質問に、「ぼく」はどう答えたらよいと思いますか。



誰に対しても公平に接することができる人は、どんなことを大切にしていると思いますか。

人と公平に接することができなかったときは、どうしてできなかったのかを考えよう。



ご家庭で

ご家庭でも、お子さんが普段どのように友達と接しているのか聞いてみてください。お子さんの公平な態度について聞いたときは、それをしっかりと認める言葉がけをお願いします。おうちの人に認められることが自信になり、思いやりのある、よりよい人間関係を築いていくことにつながっていきます。

キャリア教育で特に身に付けたい3つの力



自分のいいところ
を見付ける力



次のことを考える力



考えや気持ちを聞いたり、伝えたりする力

道徳授業地区公開講座 授業のポイント

令和5年 1月14日 土曜日 第4学年1組 授業者 小林 彩乃

今日のテーマ「希望と勇気、努力と強い意志」

授業の流れ

使う教材「より遠くへ」(光村図書)

育てたい心

今より成長したいという願いや努力することの大切さを知り、目標に向かって粘り強くやり遂げようとする心情を育てたいと考えています。

お話について



谷真海さんは、幼い頃からスポーツが大好きでした。しかし20歳のときに、骨肉腫という病気で右足の膝から下を切断しました。がんばれば再びスポーツができるようになるという医師の言葉に一筋の希望を抱いて、手術を受けてリハビリに取り組みました。しかし、退院後、不安感や悲しさ、自分だけが取り残されたという気持ちと、歩くのもやっとという現実に落ち込みます。そんなとき、スポーツをもう一度始めることを決心します。義肢装具士の方に、義足で走ってみよう勧められて希望を取り戻し、自分で目標を立てて一つ一つ乗り越えていくようになります。走り幅跳びに取り組むようになった真海さんは、もっと速くもっと遠くへと練習を重ね、ついにパラリンピックにも出場、記録を伸ばし続けました。

将来の夢や今目標にしていることを発表する。

- 1 手術の後、真海さんが再びスポーツを始めようと思ったのはどんな気持ちからでしょう。
- 2 真海さんが手にした「大切なもの」とは何だと思えますか。
- 3 目標に向かって努力を続けていくために大切なことは何でしょう。



改めて自分の夢や目標を振り返って考えてみましょう。



ご家庭で

努力してやり抜くことのすばらしさは私たち大人も経験してきています。おうちの方の何かをやり遂げた経験をお子さんにお話いただくことで、お子さんは大いに勇気づけられると思います。そして、結果だけにこだわるのではなく、お子さん自身のチャレンジや努力を「よくがんばった!」と温かく励ましていただけるとよいと思います。その励ましがお子さんの自信を深め、さらなる向上心を育むことにつながると思います。

キャリア教育で特に身に付けたい3つの力



自分のいいところを見付ける力



次のことを考える力



考えや気持ちを聞いたり、伝えたりする力

道徳授業地区公開講座 授業のポイント

令和5年 1月14日 土曜日 第4学年2組 授業者 辻 泰

今日のテーマ「希望と勇気、努力と強い意志」

授業の流れ

使う教材「より遠くへ」(光村図書)

育てたい心

今より成長したいという願いや努力することの大切さを知り、目標に向かって粘り強くやり遂げようとする心情を育てたいと考えています。

お話について



谷真海さんは、幼い頃からスポーツが大好きでした。しかし20歳のときに、骨肉腫という病気で右足の膝から下を切断しました。がんばれば再びスポーツができるようになるという医師の言葉に一筋の希望を抱いて、手術を受けてリハビリに取り組みました。しかし、退院後、不安感や悲しさ、自分だけが取り残されたという気持ちと、歩くのもやっとという現実には落ち込みます。そんなとき、スポーツをもう一度始めることを決心します。義肢装具士の方に、義足で走ってみよう勧められて希望を取り戻し、自分で目標を立てて一つ一つ乗り越えていくようになります。走り幅跳びに取り組むようになった真海さんは、もっと速くもっと遠くへと練習を重ね、ついにパラリンピックにも出場、記録を伸ばし続けました。

将来の夢や今目標にしていることを発表する。

- 1 手術の後、真海さんが再びスポーツを始めようと思ったのはどんな気持ちからでしょう。
- 2 真海さんが手にした「大切なもの」とは何だと思えますか。
- 3 目標に向かって努力を続けていくために大切なことは何でしょう。



改めて自分の夢や目標を振り返って考えてみましょう。



ご家庭で

努力してやり抜くことのすばらしさは私たち大人も経験してきています。おうちの方の何かをやり遂げた経験をお子さんにお話いただくことで、お子さんは大いに勇気づけられると思います。そして、結果だけにこだわるのではなく、お子さん自身のチャレンジや努力を「よくがんばった!」と温かく励ましていただくとよいと思います。その励ましがお子さんの自信を深め、さらなる向上心を育むことにつながると思います。

キャリア教育で特に身に付けたい3つの力



自分のいいところを見付ける力



次のことを考える力



考えや気持ちを聞いたり、伝えたりする力

道徳授業地区公開講座 授業のポイント

令和5年 1月14日 土曜日 第4学年3組 授業者 小野澤 瑞季

今日のテーマ「希望と勇気、努力と強い意志」

授業の流れ

使う教材「いのちより大切なもの」

育てたい心

成長したいという願いや努力することの大切さを知り、自分で決めたことを粘り強くやり遂げようとする心情を育てたいと考えています。

お話について



人一倍健康で体力も人並み以上のものがあつた星野富弘さんは、中学校の体育の教師になります。しかし、クラブ活動の指導中に不慮の事故で首から下の自由を失い、ベッドの上で天井だけを見つめる日々を過ごします。ある時、知人にメッセージを寄せようと唯一動かせる口にペンをくわえたことがきっかけで、口にペンをくわえ字を書くということを知ります。初めはうまくいかず、「口に字を書きたい」という目標に向かって、星野さんの壮絶な努力の日々が始まります。震えるペンで初めて「ア」を書き上げた星野さんにとって、その「ア」は一生の宝物となりました。希望をもち、あきらめない前向きな心が主人公を支えていたことに気付かせ、粘り強くやり遂げようとする心情を育てたいと考えます。

星野富弘さんについて知る。

- 1 毎日毎日、病室の天井を見つめる星野さんは心の中でどんなことをつぶやいていたでしょうか。
- 2 必死に書いて、帽子に黒い点が一つ付いた時の星野さんは心の中でどのようなことを考えたでしょうか。
- 3 初めて字を書くことができたとき、星野さんは心の中でどんなことを考えたでしょうか。



今後、自分が頑張りたいことについて考えてみましょう。



ご家庭で

努力してやり抜くことの素晴らしさは私たち大人も経験してきています。おうちの方の何かをやり遂げた経験をお子さんにお話いただくことで、お子さんは大いに勇気づけられると思います。そして、結果だけにこだわるのではなく、お子さん自身のチャレンジや努力を「よくがんばった!」と温かく励ましていただけるとよいと思います。その励ましがお子さんの自信を深め、さらなる向上心を育むことにつながると思います。

キャリア教育で特に身に付けたい3つの力



自分のいいところを見付ける力



次のことを考える力



考えや気持ちを聞いたり、伝えたりする力

道徳授業地区公開講座 授業のポイント

令和5年 1月14日 土曜日 第5学年1組 授業者 松本 学

今日のテーマ「個性の伸長」

使う教材「きみがいちばんひかるとき」(光村図書)

育てたい心

「自分らしさ」を見つめることについて考えさせ、自分の長所や短所に目を向け、自分自身を伸ばしていこうとする実践意欲と態度を育てたいと考えています。

お話について



「いくつものまど」


「わたし」には、いくつものまどがある。／友達から見えるまどには、友達が思う「わたし」がいる。／しんが強く、友達思い。それが友達から見た「わたし」。／自分から見えるまどには、自分が思う「わたし」がいる。／意地っ張り、さびしがり屋。それが「わたし」だと思っている。／一つ一つのまどが、わたしのもつ「自分らしさ」の一部。／あなたには、どんなまどがある？／そのまどに、とっておきの「わたし」が見つかるかもしれない。

「手塚治虫が見つけた『自分の道』」

小さい頃から漫画を読むことも描くことも大好きだった手塚治虫は、小学校・中学校で先生や友達から漫画を描く才能を認められたことを支えに、亡くなるまでに約700もの作品を発表しました。そして、「1つのことを続けてほしい」と書き残しています。

授業の流れ

自分の「いいところ」は何か、考える

- 1 グループになって、それぞれの『『自分らしさ』のまど』を完成させましょう。
- 2 資料「手塚治虫が見つけた『自分の道』」を読んで、「自分らしさ」を見つけることの大切さを考えましょう。

自己を振り返る。

これからどんな「自分らしさ」を伸ばしていきたいですか。

ご家庭で

本時の学習において、お子さんは、「自分らしさ」について改めて認識したり、新たな「自分らしさ」を発見したりしたと思います。この機会に、保護者の方から見るお子さんの個性を告げていただきたいと思います。その上で、お子さんが自己理解を深め、今後、こんな「自分らしさ」を伸ばしていこうとする態度に繋がってけるとよいと考えています。

キャリア教育で特に身に付けたい3つの力



自分のいいところを見付ける力



次のことを考える力



考えや気持ちを聞いたり、伝えたりする力

道徳授業地区公開講座 授業のポイント

令和5年 1月14日 土曜日 第5学年2組 授業者 山口 竜也

今日のテーマ「個性の伸長」

使う教材「きみがいちばんひかるとき」(光村図書)

育てたい心

「自分らしさ」を見つめることについて考えさせ、自分の長所や短所に目を向け、自分自身を伸ばしていこうとする実践意欲と態度を育てたいと考えています。

お話について



「いくつものまど」


「わたし」には、いくつものまどがある。／友達から見えるまどには、友達が思う「わたし」がいる。／しんが強く、友達思い。それが友達から見た「わたし」。／自分から見えるまどには、自分が思う「わたし」がいる。／意地っ張り、さびしがり屋。それが「わたし」だと思っている。／一つ一つのまどが、わたしのもつ「自分らしさ」の一部。／あなたには、どんなまどがある？／そのまどに、とっておきの「わたし」が見つかるかもしれない。

「手塚治虫が見つけた『自分の道』」

小さい頃から漫画を読むことも描くことも大好きだった手塚治虫は、小学校・中学校で先生や友達から漫画を描く才能を認められたことを支えに、亡くなるまでに約700もの作品を発表しました。そして、「1つのことを続けてほしい」と書き残しています。

授業の流れ

自分の「いいところ」は何か、考える

- 1 グループになって、それぞれの「『自分らしさ』のまど」を完成させましょう。
- 2 資料「手塚治虫が見つけた『自分の道』」を読んで、「自分らしさ」を見つけることの大切さを考えましょう。

自己を振り返る。

これからどんな「自分らしさ」を伸ばしていきたいですか。

ご家庭で

本時の学習において、お子さんは、「自分らしさ」について改めて認識したり、新たな「自分らしさ」を発見したりしたと思います。この機会に、保護者の方から見るお子さんの個性を告げていただきたいと思います。その上で、お子さんが自己理解を深め、今後、こんな「自分らしさ」を伸ばしていこうとする態度に繋がってけるとよいと考えています。

キャリア教育で特に身に付けたい3つの力



自分のいいところを見付ける力



次のことを考える力



考えや気持ちを聞いたり、伝えたりする力

今日のテーマ「公正、公平」

使う教材「私には夢がある」(光村図書)

育てたい心

誰もが差別されることなく自由に生きる権利を求め続けたマーティンの姿を通して、現代を生きる私たちはどのような考えをもてばよいのかを考え、誰に対しても差別をすることや偏見をもつことなく、公正、公平な態度で接し、正義の実現に努めようとする判断力と心情を育てたいと考えています。

お話について



マーティン＝ルーサー＝キング＝ジュニアは、ローザの事件をきっかけにバスのボイコット運動を呼びかけます。マーティンたちは非暴力を貫き、権利を求める運動が広がります。お話を通じて、現在でも存在する様々な差別をなくすためにはどうすればよいのかについて考えます。

授業の流れ

自分の身近なところで、差別だと思ったり、不公平だと感じたりした出来事を話し合う。

「私には夢がある」を読んで話し合う。

- 1 「マーティンの夢」とは、どんなものでしょう。
- 2 ローザがバスの席を譲るのを断ったとき、どのような気持ちだったのでしょうか。
- 3 アフリカ系アメリカ人の人々は、どんな思いで運動を続けたのでしょうか。



差別や不公平をなくすためには何が必要だと思いますか。



ご家庭で

身近なところで感じる不公平や差別についておうちの方ご自身の経験やお考えについて、ぜひお話しいただければと思います。授業や家庭で様々な考えや経験を耳にすることで、子供たちが考えを深めることにつながると 생각합니다。

キャリア教育で特に身に付けたい3つの力



自分のいいところを見付ける力



次のことを考える力



考えや気持ちを聞いたり、伝えたりする力

今日のテーマ「公正、公平」

使う教材「私には夢がある」(光村図書)

育てたい心

誰もが差別されることなく自由に生きる権利を求め続けたマーティンの姿を通して、現代を生きる私たちはどのような考えをもてばよいのかを考え、だれに対しても差別をすることや偏見をもつことなく、公正、公平な態度で接し、正義の実現に努めようとする判断力と心情を育てたいと考えています。

お話について



マーティン＝ルーサー＝キング＝ジュニアは、ローザの事件をきっかけにバスのボイコット運動を呼びかけます。マーティンたちは非暴力を貫き、権利を求める運動が広がります。お話を通じて、現在でも存在する様々な差別をなくすためにはどうすればよいのかについて考えます。

授業の流れ



自分の身近なところで、差別だと思ったり、不公平だと感じたりした出来事を話し合う。

「私には夢がある」を読んで話し合う。

- 1 友達と会ってはいけないといわれたマーティンは、どんな気持ちになったでしょう。
- 2 お父さんに連れられて店を出たマーティンは、どんな気持ちだったでしょう。
- 3 ノーベル平和賞を受賞したキング牧師はどんなことを考えたでしょう。

差別や不公平をなくすためには何が必要だと思いますか。

ご家庭で

身近なところで感じる不公平や差別についておうちの方ご自身の経験やお考えについて、ぜひお話しいただければと思います。授業や家庭で様々な考えや経験を耳にすることで、子供たちが考えを深めることにつながると思います。

キャリア教育で特に身に付けたい3つの力



自分のいいところを見付ける力



次のことを考える力



考えや気持ちを聞いたり、伝えたりする力

今日のテーマ「公正、公平」

使う教材「私には夢がある」(光村図書)

育てたい心

誰もが差別されることなく自由に生きる権利を求め続けたマーティンの姿を通して、現代を生きる私たちはどのような考えをもてばよいのかを考え、誰に対しても差別をすることや偏見をもつことなく、公正、公平な態度で接し、正義の実現に努めようとする判断力と心情を育てたいと考えています。

お話について



マーティン＝ルーサー＝キング＝ジュニアは、ローザの事件をきっかけにバスのボイコット運動を呼びかけます。マーティンたちは非暴力を貫き、権利を求める運動が広がります。お話を通じて、現在でも存在する様々な差別をなくすためにはどうすればよいのかについて考えます。

授業の流れ

自分の身近なところで、差別だと思ったり、不公平だと感じたりした出来事を話し合う。

「私には夢がある」を読んで話し合う。

- 1 「マーティンの夢」とは、どんなものでしょう。
- 2 ローザがバスの席を譲るのを断ったとき、どのような気持ちだったのでしょうか。
- 3 アフリカ系アメリカ人の人々は、どんな思いで運動を続けたのでしょうか。



差別や不公平をなくすためには何が必要だと思いますか。



ご家庭で

身近なところで感じる不公平や差別についておうちの方ご自身の経験やお考えについて、ぜひお話しいただければと思います。授業や家庭で様々な考えや経験を耳にすることで、子供たちが考えを深めることにつながると 생각합니다。

キャリア教育で特に身に付けたい3つの力



自分のいいところを見付ける力



次のことを考える力



考えや気持ちを聞いたり、伝えたりする力

道徳授業地区公開講座 授業のポイント

令和5年1月14日土曜日 第6学年3組 授業者 藤本 梨央

今日のテーマ「友情、信頼」

使う教材「ロレンゾの友達」(光村図書)

育てたい心

この時期の子供たちは、共通の趣味や傾向をもつ者どうして仲間集団を作るようになります。友達は重要な存在であり、学校生活が充実するかどうかは友達関係に大きく左右されやすいです。自分の考えばかりを通そうとするのではなく、互いに信頼し、助け合って、よりよい人間関係を築いていこうとする意欲と態度を育てたいと考えています。

お話について



この教材はアンドレ、サバイユ、ニコライの3人と、犯罪の疑いのかかった旧友のロレンゾとの再会を描いた物語です。「黙って逃がす」「自首をすすめるが、ロレンゾが納得しないのなら逃がす」「自首をすすめ、納得しないのなら警察に通報する」という3人の思いについて考えるを通して、それぞれの思いの根底にある友情について考えます。

授業の流れ

友情に対する考えについて振り返る。

- 1 「ロレンゾの友達」を読んで、話し合う。
- 2 3人の思いについて考える。
- 3 3人は、話し合ったことを、なぜロレンゾに言わなかったのだろう。



「真の友情」「本当の友達」とはどのようなものだろう。

ご家庭で

6年生にもなると、思春期を迎え、学校であったことや自分の友達関係のことを親に話さないようになる子供が少なくありません。それは親に頼らずに大人になっていこうとする自立心の表れであり、決して悪いことばかりではありません。ふとした小さな変化を見逃さず、もしご家庭で沈んだ様子などが見られましたら、折を見て友達関係についてお話をしていただけるようお願いいたします。

キャリア教育で特に身に付けたい3つの力



自分のいいところを見付ける力



次のことを考える力



考えや気持ちを聞いたり、伝えたりする力